

レビュー研究用フォーム		データ記入欄	
基本情報	対象疾患	悪性黒色腫	
	タイプ		
タイトル情報	論文の英語タイトル	Surgical resection for metastatic melanoma to the liver: the John Wayne Cancer Institute and Sydney Melanoma Unit experience.	
	論文の日本語タイトル		
診療ガイドライン情報	ガイドラインでの引用有無	1.有り 2.無し (1)	
	ガイドライン上での目次名称	MMCQ17-14	
書誌情報	エビデンスのレベル分類	I. システマティック・レビュー／メタアナリシス II. 1つ以上のランダム化比較試験による III. 非ランダム化比較試験による IV. 分析疫学的研究（コホート研究や症例対照研究による） V. 記述研究（症例報告やケースシリーズによる） VI. 患者データに基づかない、専門委員会や専門家個人の意見 (IV)	
	Pubmed ID		
	医中誌 ID		
	雑誌名	Arch Surg.	
	雑誌 ID		
	巻	136	
	号	8	
	ページ	950-5	
	ISSN ナンバー	0004-0010 (Print)	
	雑誌分野	1.医学 2.歯学 3.看護 4.その他 (1)	
	原本言語	1.日本語 2.英語 3.ドイツ語 4.その他 (2)	
	発行年月	2001	
	著者情報		氏名
筆頭著者		Rose DM	John Wayne Cancer Institute, Santa Monica, CA , USA.
その他著者 1		Essner R	
その他著者 2		Hughes TM	
その他著者 3		Tang PC	
その他著者 4		Bilchik A	
その他著者 5		Wanek LA, et al.	
その他著者 6			
その他著者 7			
その他著者 8			
その他著者 9			
その他著者 10			

レビュー研究の6項目	目的	根治的な肝臓転移の切除によって長い生存がえられるか
	データソース	
	研究の選択	
	データ抽出	
	主な結果	34例の肝臓転移切除患者（1754例の肝臓転移患者の2%） 無病生存期間中央値12月、全生存期間中央値28月、5年無病生存率12%、5年生存率：29%。 手術患者の生存期間中央値28月、切除なし4ヶ月。 単変量解析では肉眼的および組織学的な根治術の確認が重要な予後因子だった。
	結論	他の臓器転移巣と同様に肝臓転移巣も症例を選別すれば、切除によって無病生存期間と全生存期間の改善が期待できる。遠隔転移が限局している場合は、根治術を考慮すべきである。
	備考	
レビューワーコメント	レビューワー氏名	宇原 久
	レビューワーコメント	エビデンスのレベル分類（IV） 肝臓転移が手術の適応になる症例は少ないが、もし、そのような患者がいれば、治療の選択肢として外科手術は有効かもしれない。選択的動注、塞栓療法との優劣が問題となるかもしれない。